

演題 「保護犬・猫に理解を深めよう ～初めの一步 保護犬・猫とは～

- ・日時 4月21日(木) 13時15分～14時45分
- ・場所 立教大学 池袋キャンパス セントポールズ会館 2F
- ・講師 しっぽの里親探し 「はーと in はーと」 代表 池上 奈穂 氏



2 年程前に、関東地方の川や山に大量の犬が遺棄されているのが見つかったニュース。まだ記憶にある方はいらっしゃるだろうか。最近“動物の終生飼養と殺処分 0(ゼロ)”という話題を耳にすることが増えた。4 年程前に動物愛護法が改正され、動物愛護センターいわゆる保健所では業者や飼い主による犬・猫の持ち込みは禁止になった。遺棄された犬たちは、法改正で処分に困った繁殖業者の所業だった。さらに、現実には保健所に収用される犬・猫はたくさんいる。

4 月度の異文化研究会講演会では、そのような犬・猫を保護し新しい里親さんに繋ぐという活動をしている池上氏の講演を聞いた。池上氏によると、平成 26 年における全国の犬・猫の殺処分件数は約 10 万頭。殺処分される犬・猫がいる一方、ペットショップの売り場には、かわいい子犬・子猫が並ぶ。殺処分される犬・猫の中には、①ペットショップで売られる犬・猫流通の裏側に存在する繁殖用の親犬・猫のうち、病気や歳を取り繁殖用に使えなくなったもの。②安易に購入し身勝手な理由で捨てられたもの。③不用意に繁殖して必要ではないもの。などが含まれていた。保護犬・猫になれるのは、ほんの一部で、全ての命は救いきれていない現実。スライドや平成 24 年に環境省が作成した DVD (You Tube で閲覧可) も交え分かりやすい内容だった。

<https://www.youtube.com/watch?v=PArDxEbK7jA>

「ペットの命はあなたにゆだねられています」「動物の遺棄・虐待は犯罪です」  
なぜ人間の身勝手により殺されなければならないのか？人間はここまで命を粗末に扱ってよいのか？  
多くの問いを心に残した。

池上氏の活動報告の中で、新しい里親さんに引き取られた元保護犬・猫たちの幸せそうな写真も紹介され、心が温まる思いだった。今回の講演参加者の多くの家庭で、犬・猫を飼っていらっしゃるようで、おそらく家族の一員として幸せな日々を送っていることと思う。そのような幸せの裏側に悲しみ・苦しみを抱える犬・猫もいることを意識しないといけないと強く感じた。

「1 頭でも多くの命を救いたい。」池上氏の活動は、これからも続いていく。「殺処分ゼロを目指す」という力強い言葉で講演会は終了した。

実は、私はこの会で保護犬・猫の医療費を捻出するためのフリーマーケットでの販売ボランティアとして、共に活動している。経緯は「犬のペットビジネス ～小さき命の闇と光～」という修了論文を書いたことに始まる。取材をする過程で、ペットビジネスを取巻く人間の欲望に呆れ、流通途中で失われる命の多さに驚き、殺処分される命に涙し、人間のあまりの悪行にそのうち天罰が下るであろうと思うばかりだった。そんな中、保護活動に邁進する人たちとの出会いがあった。

私たちの会では現状を理解し、「小さな命を救う活動」にご協力いただける方を募集しています。